

I ターンし文化・芸術活動で地域を盛り上げる

～カーネギーホールで演奏を行う熱血 打楽器奏者～
材株式会社 長堀 晶さん（41歳）

東京には東京の良さがある。同様に地方には地方の良さがある。地方の価値を正しく見据えて、フルに堪能する。そして、自分が地方を楽しむ一翼を担う。

今回、紹介する長堀さんは、東京でのスタジオミュージシャンとしての生活から、I ターンにより青森県に拠点を置き、地方から世界に発信するチャレンジに燃えています。

○音楽一筋の都会暮らしに別れ

1975年東京・浅草生まれ。音楽との出会いは、小学生時代に通い始めたドラム教室。高校卒業後は、システムエンジニアを目指し東海大学工学部に進学しますが、友人の紹介で出会った音楽芸能事務所(Halftone Music)がきっかけで、大学を中退してプロのドラマーとしての道を目指し始めます。その後、音楽的才能が開花し、スタジオミュージシャンとして数多くのメジャーアーティストをサポート。その中で26歳の時、歌手としてデビューしていた妻と巡り会います。

35歳の時、新たな出会いをきっかけに、社員としてオーディオ輸入会社(LINN JAPAN)に入社。イベント企画や運営、営業などを通してお客様が抱く欲求について学びます。

36歳の時、表現者として情報発信拠点が必ずしも東京である必要はないのでは！？と感じはじめ、妻と一緒にIターンすることを計画。37歳の時、三沢市に移住しました。



○地方でのビジネス

青森県での最初の仕事は、友人の料理人に紹介してもらったイオンモールの飲食店勤務。移住の際に掲げていたテーマ「三沢市にある妻の実家の飲食店(ふく田)経営立て直し！」もあり、簿記の資格や調理師の資格も取得しました。

そして、飲食店を運営する中で、三沢市の魅力や、地域食材を活かした商品づくりについて考える時間が増えていきました。同時に、青森県全体の魅力発信に対する興味も沸き上がってきました。そんな時出会ったのが、ソーシャルビジネスを営む会社、材株式会社です。入社後は、ウェブ制作を新たに学び、これまで表現者として実践してきたことや、お客様が求める欲求などの知識を踏まえ、総合的な視点で地域のマーケティング業務に就かせてもらっています。

個人で行う活動にも理解・応援のある会社と出会えたことは、とても大きな財産です。



○夫婦の音楽への取組

妻はミュージシャン、タレント、若女将としてラジオやTVCM、飲食店運営と幅広く活動しています。そして、私は市民団体「Misawa Music Lovers」の代表として、音楽をテーマに地域住民の世代を超えた出会いの場を創っています。

自身がステージに立ち牽引するだけでなく、地域にこれまで無かった新たな企画を地域独自の魅力としてプロデュースして、多くの方に届けて行きたいと思っています。目的・ビジョンが精度高く定まっていれば、活動拠点や情報発信拠点はどこでも良いと感じていますし、そのことを証明する意味でも取り組みが形として残るように努めています。

2015年11月に妻と行ったニューヨーク・カーネギーホール公演や音楽ワークショップなどの地域住民と行うイベント活動もその一つです。

また、地域資源を活用したオリジナル商品(打楽器「青森ヒバCajon」、「三沢ホッキシェイカー」)の開発なども地域の発展や首都圏を意識した取り組みの一つです。

今後も、様々な出会いを大切に個人の活動と材株式会社の活動を連動させながら動いていきたいと考えています。

○Iターンの感想・アドバイス

「経験は持っていく、執着は置いていく。」それが私の移住の際に決めたテーマでありキーワードです。

何事も選択肢の数を比較すると、残念に感じる人が多い地方生活ですが、思考回路そのものを少し切り替えてみると、東京に負けない魅力、青森にしかない魅力が沢山発見できます。

「こんにちは！」と明るく話しかけてみてください。みんながきっと「ようこそ！」と答えてくれるはずですよ。あなたも青森暮らしを検討してみませんか！？

【参考情報】

材株式会社 おいらせ事業所

〒039-2189 青森県上北郡おいらせ町青葉2丁目50-323 PCL2階

TEL : 0176-51-4544 WEB : <http://zais.co.jp>

